

東日本大震災に伴う広域患者搬送に対する全国 ICU 応需状況のお知らせ

日本集中治療医学会は今回の東北地方を中心とした東日本大震災の被害の増大を鑑みて、3月12日から情報交換のための緊急メーリングリストを立ち上げました。被害は甚大で、重症患者の広域搬送、長期にわたる ICU 治療を必要とすることが推測されています。

そこで、評議員(215名)施設を中心とした本学会会員の所属する ICU の重症患者応需状況の情報収集を開始しました。この応需情報は、EMIS(広域災害救急医療情報システム)への入力の基本ですが、EMISにアクセスできない施設、部署もあり、本学会としてまとめた応需情報を被災地の医療機関、また DMAT の皆さんに応需状況を知らせるものであります。

機関名、担当責任医、ICU 受け入れ(血液浄化、人工呼吸可能)状況、および、ICU 医の派遣可能状況を掲載しております。また、同様に小児 ICU(PICU)に関しても掲載致します。

最後に、被災地域の皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方の冥福を謹んでお祈り申し上げます。

2011年3月13日

日本集中治療医学会 理事長 前川剛志

副理事長 氏家良人